



振り返りと展望

校長 中山 正之

2月は立春の翌日に警報級の大雪が降ったり、そのわずか2週間後に気温が20℃を超えたりと、寒暖差が大きく落ち着かない気候が続きました。思わず「三寒四温」という言葉を連想しますが、この言葉が使われる時期は3月の初め頃が一般的なようです。その3月を迎え、今年度の終わりが近づいてきました。卒業式や入学式の準備も始まりました。今年の桜はいつ頃咲くのだろうか、気になり始めています。

年度末が来ると、学校では教職員でその年度の学校経営の振り返りを行います。そして反省点をもとに改善に取り組んでいきます。今回は検討の結果来年度に向けて、

- ・ 1年生は年間を通して、水曜日を4校時授業とすること
- ・ 給食時のグループ会食を、学年に応じて段階的に行っていくようにすること
- ・ 集団登校の日数を見直し、4月は5日間、夏休みと冬休み明けは3日間とすること

の3点に取り組んでいくこととしました。学年によって取り組み方や時期が異なりますので、新学年でのおたよりや懇談会等でご確認ください。

振り返りと展望に関しては、今年度も子ども達と保護者の皆様を対象に9月と2月に教育活動評価を実施いたしました。いずれの月も多くの皆様にご協力をいただくことができ、大変感謝しております。私達が結果から注目しているポイントとしては、

- ・ 学力と学習習慣 ・ 自尊感情に関する意識 ・ 子ども達の生活習慣と体力

が挙げられます。また、子ども達の意識と保護者の皆様の意識との、共通点、相違点も見ていただきたいポイントです。評価の結果と考察につきましては、まとめたものを今月お配りする予定です。得られた結果は来年度のアクションプランを考える上での基礎資料ともなります。ぜひお子さんと一緒にご覧いただき、様々な視点から今年度の学校生活を振り返り、次年度への展望を持つようにしてほしいと思います。

さらに、学校関係者からの評価に関して、学校運営協議会を実施しています。協議会のメンバーは、地域住民、保護者代表、学識経験者、学校・地域コーディネーター、キッズクラブ代表、コミュニティハウス館長等から構成されます。今年度は5月、11月、2月の3回実施し、毎回貴重なご意見をいただきました。直近の2月の第3回では児童評価、保護者評価の結果をご覧いただきました。ご意見をいくつか紹介します。

- ・ 自分で考え、行動できる子どもが育ってほしい
- ・ 保護者が子どもと向き合う時間を作ることが、自己肯定感を育てることにつながると思う
- ・ 「早寝」は今の子ども達にとって生活習慣とすることが難しくなっている
- ・ デジタルデトックスの取組は親子で一緒に行うことが必要だと思う

おかげさまで今年度も保護者の皆様、地域の皆様に支えていただきながら、日々の教育活動を進めていくことができました。多くのご協力に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。次年度もどうぞよろしくお願いいたします。